

## 令和7年度日光市まちづくり懇話会(大沢地区)概要

日 時:令和 7 年12月2日(火)午後6時 30 分~8 時 25 分

場 所:日光市役所大沢公民館会議室

参加者数:○地区側参加者6名

○市側参加者 (市長、副市長、企画総務部長、地域振興部長、他地域振興課職員)

### 【市長】

皆さん、改めまして本日はご参加ありがとうございます。

さて、今回の懇話会は私が市長就任半年ほどということもあり、9 地区すべてで実施しています。今回はそのうち 4 力所目です。今年度の懇話会では特に皆さんから地域の課題等、お話を伺ってまいりたいと考えています。

来年度から第 3 期となる総合計画が始まります。10 年の計画であり、市がまちづくりしていくうえで最上位に位置する計画です。この計画の核として「女性の住みやすいまちづくり」を特に重視しています。

栃木県は全国的に見て女性の各種指標が低い県とされています。日光市は県内の中でも更に厳しい状況です。そのため、市としても、女性が住みやすい・活躍できるまちづくり、特に若い女性、子育て世代、高齢女性の 3 点すべてに取り組んでいかなければなりません。

市では 25 歳から 29 歳の女性が市を離れる割合が突出しています。また、子育て世代にとっては、子育て支援や教育支援への市の投資額は低いわけではないが、実際の満足度は低いという結果も出ています。さらに高齢女性の社会参画率も低く、自治会長なども 0.2%ほど。社会や団体の役職にも女性が少ないのが現状です。

この状況を変えなければなりません。移住・定住による人口減少対策、定着促進の面からも、女性が「日光市に住みたい」と思えるまちづくりを、今後の 10 年間の柱として進めていきたいと思っています。

また、明後日の自治会連合会研修会でも、今日のテーマの具体的な部分についてお話しする予定です。

### 【参加者 A】

平成町自治会も大沢地区全体も少子高齢化が非常に顕著になっており、空き家がだいぶ増えました。管理放棄により木が敷地をはみだして困ります。法改正があり、連絡して何もなかったら切っていいよ、ということだが、高齢化によってなかなか切ることができません。所有者が遠方にいたり、伐採したときの費用や遺産相続の問題もあり、こちらも対応できないというのが現実です。

また、認定外道路と認定道路の問題。分譲地管理が入ってるところは毎年 100 万円ほどもらえるらしい。自治会内に3つあるが、なかなか新しい人には趣旨が理解されず、負担金も回収できません。その反面、認定外道路は生活道路であり、20 年 30 年一般道路として使っていて、それを直すとなると認定外だから対象外になってしまいます。生活道路だから認定してほしいところです。

役員選出も非常に苦労していて、特に民生委員の選出は大変です。勤務体系も変わったり、価値観が変わってなかなか協力してもらえません。役員は、14 人いるうち女性が 6 人います。去年大学出た若い子を企画部長にしてみたら、総会で紹介すると拍手で歓迎されました。ただ職場で理解が得られず、本人は残念がっているが、少しでも余裕があるときにやってもらっています。

防犯対策も、駐在所と連携して、タイムリーなニュースももらっています。防犯ブザーを全世帯に 560 本配りました。何かあったときは防犯ブザーを引いて窓から外へ投げろ、近隣がそれを見たら、110番や駐在

所、今市警察署へすぐ通報して、と。自治会はみんなで守るものだから、近隣の連携強化の意味で導入しました。やってよかったなと考えています。

高齢者は多く、「お助け隊」という組織を作りました。手伝ってくれる方が今 21 名、出来るときだけ来てもらう、楽しくやってもらう形です。大沢地区の会議で取組みを紹介しました。

学校では子どもがタブレットを器用に使っています。自治会でも情報伝達に使えそうです。導入には莫大な金がかかるけど、回覧や緊急連絡のため、意見として考えていただきたいと思います。

また、ごみステーションには野外掲示板を全部つけた方がいいと考えます。未加入者もそこへ必ず来ます。見積もり取って見たが結構高額でした。地域活性化のためには予算がつけばそれも手だだと思います。地域振興課所管の自治会加入が条件の助成金は、5 世帯が入り、ありがたかったです。

#### 【市長】

空き家対策は、民間事業者と連携して進めている最中です。空き家のリフォームで首都圏の人に売っていかうという移住促進をやっています。空き家の管理の法律面はまだ課題があり、持ち主に働きかけていくしかないところです。

認定外道路も申請過多で困難です。担当課で重要なところを順番で予算対応しています。

防犯・お助け隊などの先進的な取り組みは、他自治会へのモデルになります。タブレット配布は、現実的には難しいところです。

#### 【地域振興部長】

アンケート調査を実施し研修会でも報告しますが、負担軽減に向けたアイデアについては、お互いを刺激しあったり、市でも紹介をしたいと思います。

#### 【参加者 B】

うちの地区は分譲住宅地で、50 数年経っています。90 歳近い人も多く、亡くなる人も多い状況です。高齢になって免許証を返納すると、この分譲地は不便でみんな出ていってしまいます。当時たくさん人がいたが、今人口が減ってきました。

集落の方まで市のバスを乗り入れて欲しいと頼んでいるけど、関東バスが国道を走っていて難しいようです。バス停まで15分くらい歩いています。何とかならないかと思っています。

分譲地は 400 区画あるが実際住んでいる家は 120 くらいです。空き家は 20 件、建物を壊して更地にしたのが 15 件と、世帯数が減ってきました。不動産屋さんとも情報交換して、空き家情報を集めて、少しずつ、3年前から2件、3件、今年は8件と、増えてきています。

最近は、「ただでもいいから土地をもらってくれ」という話が非常に多い。固定資産税払いたくないから、とにかく誰かもらってもらいたいというのが現状です。

男女共同参画審議会の委員をしていました。当時4名女性役員を増やしたが、自治会長は増えません。市にも女性管理職は少ないので増やして欲しいと要望書を出した経験があります。

#### 【市長】

市役所は管理職に女性の登用が全然進んでいません。急に部長に女性を登用するのは難しいが、少しずつ年数かけて増加するしかありません。

#### 【参加者 C】

悩みは高齢化です。世帯数は 1,200 ぐらいあるが、実際自治会に入っているのは 500 くらいで、40% ほどしかありません。アパートが多く、アパート住まいはほとんど自治会に入りません。10 年前は 700 世帯以上いたが今は 500 で、200 世帯ぐらい減りました。最近は新しく分譲して、新しい家が建っている

が、やめる方が多い状況です。自治会の加入率の低下をどうやって食い止めるかが課題です。

イベントや行事をやれば出てくるだろうと、コロナ後に復活させていろいろやっています。今年は古河電池や古河電工の工場見学会をやりました。会社側は「初めてだ」と言っていました。企業も危機感を持っていて、人が採れない、宇都宮へ行ってしまうようで。今市工業高校がなくなることにも、危機感を持っているところでは。

公民館が地域内の一番端っこにあり、遠いのが課題。「公民館を近くにしてくれ」と言われています。高齢になると車の運転もしなくなるので、行けなくなる人が増えています。今市工業がなくなったら、その敷地を公民館に利用できないかと模索中です。

役員の後継者調整も大変です。過去に役員やった人に聞いても「会長は無理」と言われます。「女性なんてとんでもない」と言われるし、悩みどころです。役員すらなり手がいないが、早く後継を作らないといけないことが一番の悩みです。

市の助成金の制度もあまり知られていないようです。制度が周知されていないのではないのでしょうか。

自治会加入促進は自治会だけでは限界もあるので、市と連携しながら案を探したいです。

【市長】

自治会の加入率は市全体でも下がっていて、イベントや行事など地域のコミュニティが集まる場が重要だと認識しています。伝統行事や地域イベントを復活させることで、コミュニティをつなぎ止める効果があると思います。

【参加者 B】

山口と山口二丁目と大沢町第一とで民生委員を出しているが、決まっていない状態です。自治会を主体とした民生委員なら良いのですが。

【市長】

民生委員も、自治会長は男性ばかりですが、民生委員は女性の比率が高い。バイアスや役割分担が固定化されているのかもしれませんが。

【参加者 D】

うちの自治会は、農地の大規模化が進み、人が減り、高齢者が増加しています。農林省の補助事業で多面的機能交付金を平成 24 年から使い活動しています。最大で 1000 万円ほど予算をいただいたこともありましたが、要件が厳しくなり、活動人口も 900 人から 850 人まで減っています。

弁天沼の自然保護の保全活動もしています。農地が荒れると鳥獣害の被害が増えてきます。今 117 世帯で 480 ヘクタールを管理はきついです。

自治会の後継者については毎年強制的に交代しています。ただし女性役員はほとんどいません。

農業委員会も女性比率が日光市では高いが、前会長が女性を引き上げ、登用したこともあります。

補助事業も、地元負担なしで活用できる交付金は非常にありがたいところです。

【参加者 E】

市に要望を出したいのですが、市の職員が多いのではないかと、という声が多いです。85人に1人ぐらいの割合で職員がいるが、宇都宮市、小山市、佐野市と人口比率で比較してかなり多いです。

半年くらい前、ある課に申請をしました。窓口に行ったら、担当が「ここがこうなので記入して」と丸をつけてくれました。でも次に行くと担当が違って、「ここもやらなきゃいけない」と言われて、最終的に4回行ってやっと提出できました。統一性がとれていないのでは。見積書、領収書の金額が違っていると、どうして同じ金額にしなければいけないのか疑問に思いました。

5年に一度の国勢調査協力員の要員選びも難しい状況です。前回とだいぶ内容が違う、調査票に基づいて事前調査も細かくなりました。市でやり方も考えてほしいし、市の人数を多くして、各地区に1人ぐらいの相談員を配置してくれると助かります。5年後にまたお願いされても、やる人がいないと思います。

【市長】

今、まさに職員適正化の計画を作っているところですが、各行政センターに機能を持たせているため人を配置していることもあります。

【副市長】

人口比率でみると多いのは事実です。原因として、合併した市町村はそれぞれに職員を抱えていたので多くなりがちで、ある一定の年齢になるまでは減っていかない、全く人を採用しないと高齢化します。加えて国が公務員の定年延長という仕組みを作ったことも影響しています。合併時に1340人いた職員が今868人だと思っています。引き続き、業務の簡略化を進め、人を減らす努力をしているところです。

【参加者 E】

なるべくなら日光市から人を採ってもらいたいです。

【地域振興部長】

補助金、助成金の申請のしやすさ、分かりやすさのための見直しを進めていきます。

【参加者 F】

新栄郷第一です。開発で30～40年前に分譲された別荘地に住んでいます。家を建てた最初の人たちは高齢化し、後継者はほぼ戻ってきません。全体の数は、維持している感じです。自治会が小さいのでコミュニケーションもよく取れている。役員以外の人も色々手伝ってくれて助かります。

毎月「自治会だより」を発信しています。もう21号目。毎月、クリーン作戦や国勢調査など色々あります。楽しみにしている方もいるようです。

防犯ブザーも平成町の事例を真似して全世帯に配布しました。駐在所とも連携を取っています。

女性の活躍だが、仕事場や働き口がないと残れません。森友の工業団地は病院が移ってきただけで、企業が増えれば活性化します。女性の働く先を誘致してくれたらと思います。

【市長】

森友の工業団地にはミネラルウォーターの会社が進出予定です。他にも企業誘致を進めていきます。

【参加者 F】

新聞で日光宇都宮道路の料金徴収延長を見ました。日光市としては無料化の方に持ってほしい。

【市長】

市ではこれまでに要望書も出しています。県では何か社会情勢が変わったときに、検討の余地は残っていると言っています。

【参加者 A】

大沢駅前の南原出張所の駐車場が狭すぎます。自転車置き場も大きすぎます。ごみステーションも含めて、もう少し良くなれないか考えてほしいことを要望します。

日光宇都宮道路の料金の助成か無料通行券を考えてくれないかと伝えてくれとのことです。

【参加者 B】

市道の舗装と側溝の改修を3か所ほど、4月頃と6月頃、2回にわたり要望しました。回答がないので、せめて回答してほしいのですが。

昔は普通に部長や課長の応接セットに行っていたが、今はカウンター越しで簡単には行けない雰囲気にな

りました。部長や課長に挨拶も行ってたのに今は行けない感じです。

【市長】

防犯の観点から区切るスタイルが主流になっています。要望の件は確認させていただきます。